



第44回九州シニア選手権競技

競技報告 (2014/10/2)

写真と記事 : M. Kikutake

通算イーブンパー、144

大野徹二 (大博多) が プレーオフで白坂千弘 (宮崎大淀) 下し初優勝

九州シニア選手権は1、2日の2日間、宮崎市のUMKカントリークラブ(6663ヤード、パー72)で行われ、通算イーブンパー、144で並んだ2人によるプレーオフの結果、57歳の大野徹二(大博多)が54歳の白坂千弘(宮崎大淀)を1ホール目に下し、初優勝した。

プレーオフは大野徹が1番(パー5)でピンそば30cmにつけてバーディーを奪い、パーの白坂に競り勝った。

2打差の3位はシニア初出場の尾家清孝(周防灘、55歳)と山口龍良(佐世保、62歳)。さらに1打差の5位は野上英司(ミッションバレー、56歳)だった。前回優勝の田中雅之(若木、57歳)は首位に6打差の11位タイだった。

大会には予選通過者、シード選手ら148人が出場(欠場6人)。初日は一時霧雨に見舞われたが、2日間とも微風の好コンディションの中での競技になった。

そんな中、大野徹は初日7アンダー、65と驚異的なスコアで単独首位。2位の山口、田口保(くまもと中央、64歳)の2人に6打差をつけた。最終日は前半終わって、大野徹は1オーバーだったが、他も伸びず逆に7打と差を広げた。しかし、後半にドラマが待っていた。大野徹は12番で第1打OB、14番で第2打OB、15番ボギーと3ホールで6打スコアを落とす波乱。浮上したのが、4組前でホールアウトしていた白坂。この日は9打差の10位タイスタートだったが、4バーディー、2ボギーで回って首位に並び、プレーオフにもつれ込んでいた。



日本シニア選手権は21人が出場権

この試合の結果、17位タイまでの19人と、20位タイの6人の中から、最終日のスコア上位の2人選ばれ、計21人(シードを含む)が第36回日本シニア選手権(11月12~14日、兵庫県・小野GC)への出場権を得た。



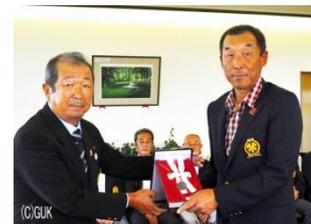
2位・白坂千弘選手



3位タイ・尾家清孝選手



3位タイ・山口龍良選手



5位・野上英司選手



何が起こるか分からない…

薄氷を踏む勝利だった大野徹二

初日のリーダーポート前。ホールアウトした選手が次々と集まり、そして、赤い文字で記録された大野徹二の「65」の数字にどよめきが起こった。2位以下に圧倒的差をつける7アンダーに、「シニアのスコアじゃないよな」と驚きの声さえ上がった。



がしかし、だった。よく言われることだが、勝負は下駄を履くまで分からない。最終日は余裕を持っての楽々の逃げ切りかと思われたのが、「まさか」が起こったのだ。

大野は前半、1オーバーの37でターン。後続もスコアを縮められず、その差は逆に7打に広がっていた。ところが、12番（パー4）で第1打を右にふかしてOBのトリプル。さらには14番（パー4）でも落とし穴が待っていた。第2打は「前下がりのライで、無理せず確実にアイアンでいけばよかったが、ユーティリティで攻めた」。その結果はセカンドOBでダブルボギー。「あそこでクラブを握りかえる勇気があったら」と悔やむショットだった。

ショックは尾を引き、続く15番（パー4）でも30cmほどのパットがカップにけられ、ボギー。バタバタしてしまった。ホールアウトしてみると、実は4組前でこの日のベストスコア70で上がっていた白坂千弘に並ばれていたのだ。

そのプレーオフは1番から。大博多だけでなく、多くのゴルフ仲間に「気持ちで負けるな」の“檄”を受けて出て行っただが、大野は3打目をピタッと

30cmにつけて逃げかけていた勝利を引きもどした。「本戦の1番でクラブ選択ミスでアプローチに失敗してボギーを打っていたんです。その反省があったから」と大野。プレーオフに入る前の僅かな時間に仲間に支えられ、気持ちを立て直して勝ち取った連盟競技初タイトルでもあった。

高校時代は甲子園を目指した野球少年。ゴルフは社会人になって30歳から始めた、と言う。これまで、目立った成績を残していなかったが、倶楽部内の研修会など、メンバーの結束が固いので有名な大博多で鍛えられた。

今年はTVQシニアオープンのアマ予選会も勝ち上がっているが、このところの好調の要因は「年齢からくるんでしょうけど、ヒザだとか、身体がどこも痛くなかったから」と笑わせた大野。この後の目標は、当然、「日本シニアで…」と答えが帰って来るかと思ったら、日本シニア選手権よりも、昨年ベルビーチ（沖縄）に7連覇を阻止された「インタークラブでの勝利の奪還」を挙げた。そのインタークラブ競技（10月22日、福岡県・JR内野CC）は、チームキャプテンとして勝利を目指す。

プレーオフで敗れたものの大健闘だった2位の白坂千弘

（大野選手の）65という数字を見て逆に気負わずに回れた。だから、日本シニアの出場権と、来年の九州シニアのシード権獲得に目標を切り替えた。初日はフェアウエーが捉えられなかったが、今日はそこを注意して9ホールでキープできたのがよかった。